



楽しさ満載 きやんせ市

3月17日(土)・18日(日)の2日間、川内駅西口駅前広場や国道3号太平洋橋通り歩道などで「第4回きやんせふるさとフェスタ」が開催されました。

両日とも好天に恵まれ、川内駅西口駅前広場では、キャラクターショーや郷土芸能が披露され、フリーマーケットや特産品販売も行われました。

太平洋橋通りでは、空き店舗を利用して古本市や食の広場、ガーデニング教室も催され、多くの人々にぎわいました。

夢の舞台で 羽ばたいて

樋脇中学校1年生、砂田琢己すまたたくみさんが、県内で一人、13歳以下のサッカー日本代表に選抜されました。小学校1年生からサッカーを始め、ポジションはフォワードで、164cmの長身を生かした攻撃は迫力があります。

「選ばれたときは驚きました。家族も喜んでいきます。試合では、必ず1点は入れたい。」と話してくれました。4月中旬に中国の北京で開催される国際試合に出場します。試合での活躍を期待しましょう。



春風を浴びて

さわやかに



3月18日(日)、快晴の川内川堤防沿いで、「川内川河口マラソンウォーキング大会」が開催されました。東京や千葉、京都からも参加して、約730人が健脚を競いました。川面に春の太陽がまぶしく輝く中で、マラソンが河口一周と10km、ウォーキングが10・6・3kmのそれぞれのコースで行われ、川内文化ホール前を元気よくスタートした参加者らは、各自のペースで楽しみながら気持ちの良い汗を流していました。

思い出話に 花が咲きました

3月11日(日)、大阪市心斎橋で84人が参加して「第12回関西東郷会」が開催されました。

初めに花田吉信会長が市長祝辞を代読し、市町村合併後の近況報告や平成18年7月に発生した豪雨水害の義援などにおけるお礼などを述べました。

懇親会では、各校区ごとに分けられたテーブルを囲み、郷土の話や思い出話に花を咲かせました。最後に、これからの郷土の発展と会員全員の健康を祈念して、閉会しました。

